

湯河原営農経済センターだより

令和7年10月
TEL 62-6149



西湘きんじろう

○営業時間の変更について

令和7年9月30日(火) 12時まで営業(仮決算棚卸のため)

令和7年10月1日(水) 13時より営業(仮決算棚卸のため)

令和7年10月31日(金) 15時まで営業

○予約肥料・農薬・みかんダンボールの受け渡しについて

みかん等秋肥料 10月6日(月) 受け渡し場所: 選果場内

湯河原中央支店 9:00~11:30 湯河原・真鶴駅前支店 13:30~15:00

秋・冬みかん農薬 10月10日(金) 受け渡し場所: 選果場内

湯河原支店 8:45~9:45 湯河原中央支店 9:45~11:00 真鶴駅前支店 11:00~11:30

みかんダンボール 受け渡し場所: 選果場内

10月15日(水) 湯河原支店 9:00~11:00 湯河原中央支店 13:30~15:30

10月16日(木) 真鶴駅前支店 9:30~10:30

※当日、悪天候が予測される場合は当センターより日程変更等のお知らせをいたします。

—— 【温州みかん】 *下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。 ——

病害虫防除

9月下旬~10月中旬

○カメムシ類 スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50g/水 100ℓ 収穫前日 3回 又は
ロディー乳剤(劇) 2,000倍 50ml/水 100ℓ 収穫7日前 4回

10月下旬~11月上旬

○ハダニ類 オマイト水和剤 750倍 133g/水 100ℓ 収穫7日前 2回

サビダニ類

11月中旬

○貯蔵病害 ベルコートフロアブル 2,000倍 50ml/水 100ℓ 収穫前日 3回
(青かび病、 トップジンM水和剤 2,000倍 50g/水 100ℓ 収穫前日 5回
緑かび病) (ベルコートフロアブルとトップジンMを併用するとより効果があります)

※昨年まで使用してきたベフトップジンフロアブル(ベフラン+トップジンM)は、2025年10月に農薬登録が失効します。11月以降は在庫のベフトップジンフロアブルも有効期限が切れているため使用できません。

※秋に発生したミカンハダニは果実に移動し着色不良の原因となりますので散布ムラのないように防除しましょう。

浮皮軽減 蚬尻期

○フィガロン乳剤 3,000倍 33ml/水 100ℓ 収穫7日前まで 2回散布量 300ℓ/10a
1回目 蚬尻期に散布 2回目 蚬尻期の2週間後

*7~8月にフィガロン乳剤を散布している園や、樹勢が低下している樹には散布を控えましょう。

摘果

大津・青島は大玉になりやすいので、収穫に向けてそれぞれの樹の着果量に応じ、不良果実を摘果します。
(スソ、フトコロの果実から実施し、上部の天なりの大玉は最後に摘果します)

——【中晩柑】——

病害虫防除

基本防除は上記みかんの項を参照して下さい。

施 肥 10月下旬

○秋肥 特選みかん配合 655 100kg/10a (果実内容の向上・樹勢回復のため)

* 中晩柑の防除における農薬の使用日数・使用回数には十分に注意しましょう。

——【レモン】*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。——

10月下旬～11月上旬

○ハダニ類 オマイト水和剤 750倍 133g/水100ℓ 収穫14日前 2回
サビダニ類

施 肥 10月下旬

○秋肥 特選みかん配合 655 100kg/10a (果実内容の向上・樹勢回復のため)

——【キウイフルーツ】——

病害虫防除

10月上旬

果実軟腐病

貯蔵病害 ロブラール水和剤 1,500倍 66g/100ℓ 収穫前日 4回

施 肥

樹勢回復のために9月に分肥した残り分キウイフルーツ配合40kg/10aを10月中旬に施肥します。

9月の施肥を行っていない方はキウイフルーツ配合100kg/10aを10月中旬に施肥しましょう。

——【う め】——

施 肥

○土壌改良 10月上中旬 苦土石灰 200kg/10a

○秋肥施用 10月中下旬 梅配合 120kg/10a

病害虫防除 10月上旬～11月上旬

2週間間隔で2回

○かいよう病 多発園ではIC ボルドー-66D 50倍 2kg/100ℓ 葉芽発芽前まで

※カイガラムシの防除のためアタックオイルを散布する場合は、IC ボルドーと混用せず、散布間隔を2週間以上空けてください。

<注意>

「収穫〇日前」：定められた使用時期。記載されている収穫前日数まで散布ができます。(前日は24時間前)

「回数」：農薬成分の総使用回数のこと。栽培期間中、何回散布可能か確認しましょう。

△△店舗により農薬の在庫状況が異なりますので、記載の農薬を購入される場合は購入先の店舗に事前に在庫確認をしていただくとスムーズに購入できます。△△

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。